

調査解析 2

琵琶湖・瀬田川プランクトン等モニタリングとプランクトン予測手法の検討

琵琶湖におけるプランクトンの定期的なモニタリングを行うとともに、異臭味プランクトンの発生によって起こる利水障害等のリスクに備えるため、瀬田川において異臭味プランクトンの短期的な予測手法の検討を進めます。

<サブテーマ>

- ・琵琶湖・瀬田川プランクトン等モニタリング調査
- ・瀬田川におけるプランクトン予測手法の検討

【現状における課題】

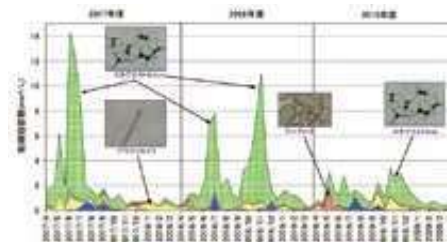
- プランクトンに起因する琵琶湖の水質や生態系の変化
- プランクトンによって発生する生ぐさ臭やカビ臭等の水道生物障害



【課題解決に向けた対応】

1 プランクトン等情報の定期的な収集

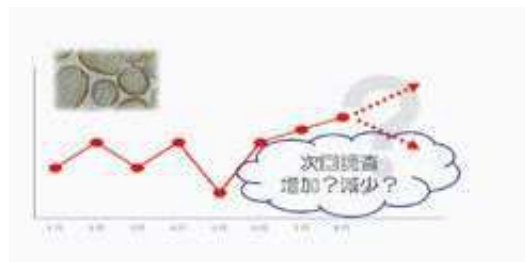
- 琵琶湖における水質や生態系の変化を捉えるためのプランクトン等のモニタリングを琵琶湖および瀬田川で実施



琵琶湖北湖における植物プランクトンの変動

2 異臭味プランクトンの事前予測

- 瀬田川におけるモニタリングデータをプランクトン予測に活用
- 瀬田川における異臭味プランクトンの短期予測手法を検討
- 瀬田川速報の充実化



- 継続的な監視、基礎データの蓄積、また、プランクトン発生状況から水質の変動を評価
- 県民や水道事業者へプランクトン発生状況や予測にかかる情報提供の充実化